

Action Eco Report

平成17年度
環境・社会報告書

アクション・エコレポート

2006



ごあいさつ

G R E E T I N G



名古屋鉄道株式会社
取締役会長

高橋 隆



名古屋鉄道株式会社
取締役社長

木下 栄一郎

名鉄グループでは、昨今の経済環境の大きな変化に柔軟に対応し、今後の発展に向けた経営方針を社会に対して明確に示すため、昨年末「名鉄グループ経営ビジョン」を策定いたしました。

このビジョンの一つの柱として「社会的責任の完遂」を掲げ、環境への取り組みを積極的に行うことを明確に宣言しております。さらに、単なる環境対策にとどまらず、より効果的かつ積極的な施策展開により、環境面からも社会に貢献できるようにしてまいりたいと考えております。その取り組みの一環として、当社を中心に取り組んでいた環境活動を名鉄グループへも広げようと、本年4月に、名鉄グループとしての環境方針とその推進体制を整えました。

各社が、環境問題を業種や会社の規模に関係なく共通に取り組むべき課題として捉え、それぞれが保有する環境保全技術やノウハウを共有し、事業に伴う環境負荷の軽減を一層促進するとともに、それらの技術やノウハウを社会へ積極的に提供してまいります。

また、グループ事業の根幹をなす交通事業を中心に、安全の確保は当然のこととして、車両や施設の快適性の向上やバリアフリー化、マイカー等との調和の取れた連携促進による公共交通サービスのさらなる利便性向上を推進することにより、名鉄グループの総合力を活かした環境経営が、より地域の皆さまにメリットのあるものとなるよう不断の努力を続けてまいります。

当地では昨年、環境をテーマとする万博「愛・地球博」が開催されましたが、この万博は、地球環境問題が地域や国境、人種の枠を越えて取り組まなければならない喫緊の課題であることを再認識する良い契機となりました。万博における取り組みの成功をバネにして、名鉄グループにとどまらず、企業の枠を越えた環境活動の広がりを当地から発信できればと感じております。名鉄グループの環境経営がその一助となれば幸いです。

平成18年9月

目次 CONTENTS

OUTLINE

01 名鉄グループの概要

プロフィール	3
名鉄グループ経営ビジョン	4
コンプライアンス体制	5

ENVIRONMENT

02 環境

名鉄グループ エコ・ビジョン	8
環境マネジメントシステムの導入	10
環境教育・環境監査	11
環境活動報告	
鉄軌道	12
バス	14
タクシー	16
トラック	17
流通	18
不動産	20
開発	21
ホテル	22
レジャー	23
技術	24
省資源・リサイクル	26
オフィスのエコ	27
沿線環境保全	28
自然環境保護	30
環境負荷データ	31
環境会計	32
環境活動の沿革	33

SOCIETY

03 社会

安全の確保	35
快適なサービスの提供	36
従業員の資質向上	37
社会への貢献	38

用語解説	39
------	----

編集後記	40
------	----

対象組織範囲 名古屋鉄道(株)と名古屋鉄道監理会社のうち、他企業が主たる親会社となる会社を除いた計179社を基本としていますが、部分的に、次のような対象に限定して記載している場合があります。
(1)名古屋鉄道(株)単体
(2)名古屋鉄道(株)、(株)名鉄インプレス及び名鉄バス(株)の3社

対象期間 平成17年4月1日から平成18年3月31日までとしました。ただし、平成18年4月1日以降に取り組んだ内容も一部記載しております。

記載方法 環境省「環境報告書ガイドライン(2003年度版)」を参考にし、可能な限りガイドラインに記載された事項を網羅するよう努めました。

名鉄グループの概要

地域から愛される
「信頼のトップブランド」を目指して



名古屋鉄道をはじめとする名鉄グループは、地域の皆さまの生活に密接に結びつく運輸、不動産、流通、レジャー、技術開発などの事業を展開する、約190社を擁する企業集団です。地域の皆さまの暮らしに密着した幅広いサービスや商品の提供を通じて、地域の価値向上に努め、永く社会に貢献していくことを使命にしています。

今後も豊かな生活を実現する事業を通じて、安心、安全、快適、楽しさ、夢そして感動を提供し続け、地域の皆さまから愛される「信頼のトップブランド」を築いていきます。

プロフィール

(平成18年3月31日現在)

関係会社数 連結子会社 170社 持分法適用会社 22社

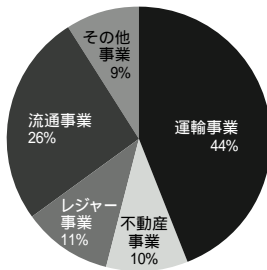
売上高 740,276百万円(平成18年3月期決算)

従業員数 35,281人

事業別の状況

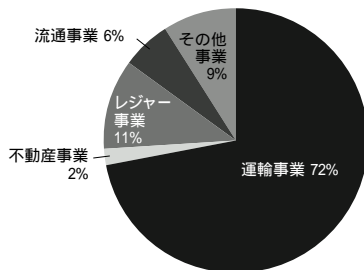
売上高比率

(平成18年3月期決算)



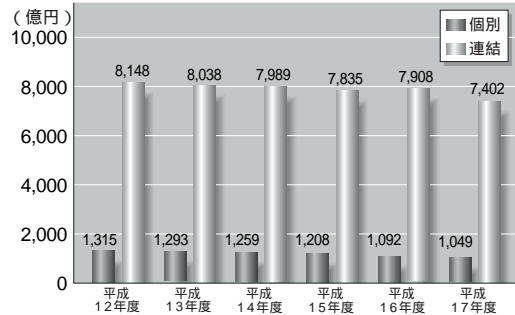
従業員数比率

(平成18年3月31日現在)

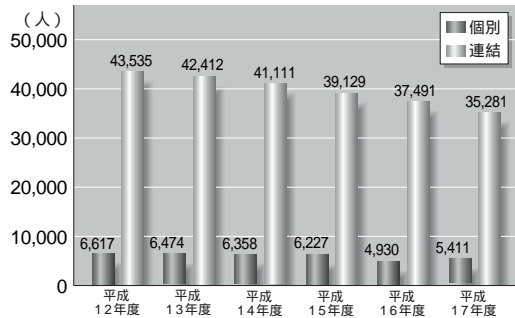


連結決算の推移

営業収益の推移



従業員数の推移



名古屋鉄道株式会社の概要

(平成18年3月31日現在)

社名 名古屋鉄道株式会社 Nagoya Railroad Co.,Ltd.
 創業 明治27年(1894年)6月25日
 設立 大正10年(1921年)6月13日
 代表者 取締役社長 木下 栄一郎
 資本金 841億8千3百万円
 年間収入 1,049億6千4百万円(平成18年3月期決算)
 従業員数 5,411人
 事業内容 鉄軌道事業、開発事業



名鉄グループ経営ビジョン

名鉄グループでは、グループの再構築を主眼とする経営計画を推し進めてきましたが、一定の成果をあげたことを機に、中長期的な視野で名鉄グループの将来像や方向性を描こうと、「名鉄グループ経営ビジョン」を平成17年12月に策定しました。

少子高齢化や顧客ニーズの多様化など経営環境の変化を背景に、改めて名鉄グループが事業を通じ果たすべき役割や責任、社会に存在する意義を明確にし、新たな発展に向け経営基盤強化のベクトルを提示することで、地域から信頼される「名鉄ブランド」の確立を図ることを目的としています。

名鉄グループ経営ビジョン

経営理念

私たち名鉄グループは、
豊かな生活を実現する事業を通じて
地域から愛される「信頼のトップブランド」をめざします

経営方針

- 経営の原点 お客さま満足を高める全社体制の確立
- グループ経営の方向 競争に打ち勝つ経営力強化と新しい事業への挑戦
- 目指す社風 一人ひとりの資質向上とチャレンジできる風土づくり
- 持続の条件 社会的責任の完遂

行動規範

真心のこもったサービスを提供し、信頼を勝ち取ります
新しい流れをつかみ、常にチャレンジします
一人ひとりが役割と責任を果たし、前進します

コンプライアンス体制

運輸・サービス事業を根幹とする名鉄グループは、それぞれの事業を運営するにあたり、より高い公共性と社会的責任が求められています。

名鉄グループでは、法令や社内規則に加え、社会通念上の倫理や道徳を含む社会規範を遵守し、誠実に行動するため「企業倫理委員会」を設立し、その後「企業倫理ヘルプライン」を設置するなど、コンプライアンス体制の確立に努めてきました。そして、その行動原則となる「名鉄グループ企業倫理基本方針」を策定しました。

この基本方針は、名鉄グループが地域社会からの信頼を得ることを基本的姿勢とし、誠実かつ公正な事業活動を行うことにより、社会の発展に貢献することを目標に掲げています。その目標を達成するために、5つの基本原則と22項目の行動指針を定め、私たちの役割と責任を明確にしています。

名鉄グループ企業倫理基本方針 基本原則

ルールの遵守(法令遵守の徹底)

安全の確保

公正な事業活動

積極的なコミュニケーション活動

人と社会の尊重

なお、この「企業倫理基本方針」は、名鉄グループ全体で共有するものとし、名古屋鉄道では別に「企業倫理行動マニュアル」として、鉄道事業を中心に対応した独自のマニュアルを作成しました。その中で、環境問題に対しては、「“名鉄エコ・ビジョン”の基本理念に

従い、環境に対する負荷軽減に努め、地球環境に優しい企業をめざす」という行動指針を定めています。

グループ各社においても、それぞれの事業に合致したマニュアルを各社または業種ごとに制定する予定で、今後一層名鉄グループ全体のコンプライアンス体制の確立を目指していきます。



企業倫理行動マニュアル

「企業倫理基本方針」の詳しい内容は名鉄ホームページに掲載しています。

<http://www.meitetsu.co.jp/profile/kigyoinri/>

地球環境との よりよい共生を目指して



平成17年2月に「京都議定書」が発効し、地球温暖化防止への取り組みが世界規模で進められるなど、地球環境保全は、今や将来にわたって取り組むべき、人類共通の最優先課題となっています。この課題を解決するために、私たちはその本質を認識し、個人から各組織体まで例外なく、問題解決へ向けて取り組むべきであると考えます。

名鉄グループでは、これまでも各社がそれぞれ環境への取り組みを地道に進めてきました。持続可能な社会を構築し、よりよい環境を次代へ引き継いでいくためには、名鉄グループが一体となって環境活動を展開・推進し、より地球環境保全に貢献しなければならないという思いから、平成18年4月、グループ環境方針として「名鉄グループ エコ・ビジョン」を策定し、新たな推進体制の下での取り組みを始めました。

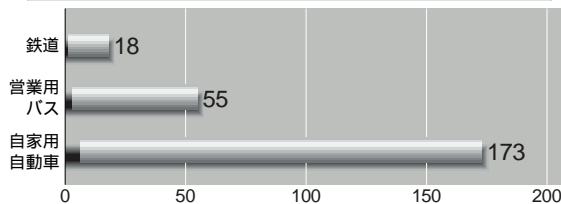
環境にやさしい企業活動をグループ経営戦略のひとつとして活かし、社会的責任の完遂を具現化する中で、名鉄グループ経営ビジョンに掲げる「信頼のトップブランド」の実現を目指していきます。

「電車で、ECO MOVE。」



3300系省エネルギー車両(名古屋鉄道)

乗り物別CO₂排出量(単位:g-CO₂/人キロ)



出典:「運輸・交通と環境」(交通エコロジー・モビリティ財団発行)

えます。名古屋鉄道では、あまり認知されていなかったこの「やさしさ」をまず知っていただき、「身近で簡単なエコ活動」として電車をもっと使っていただきたいという思いから、平成18年6月から「電車で、ECO MOVE。」キャンペーンを展開しています。



【ポスター】



【マーク入り定期券】

「環境への意識を少しでも広げていきたい」という思いから、定期乗車券にも「エコムーブマーク」を印刷しています。

名鉄グループでは、より多くの皆さまに公共交通機関をご利用いただき、環境負荷軽減に貢献するため、今後も効率的で利便性の高い公共交通サービスの提供をすすめていきます。



駅からはじまる環境にやさしい暮らし
チーム・マイナス6% 鉄道でエコ キャンペーン



名鉄グループ鉄軌道各社は、「チーム・マイナス6%」鉄道でエコ キャンペーン に参加しています。

名鉄グループ エコ・ビジョン

名鉄グループでは、環境にやさしい企業活動をグループ経営戦略のひとつとして活かし、社会的責任の完遂を進めていくため、環境方針「名鉄グループ エコ・ビジョン」の策定と推進体制の構築を進めています。

名鉄グループ エコ・ビジョン

基本理念

名鉄グループは、環境問題を地球規模で考え、
地域・個人レベルで行動し、
環境にやさしい企業をめざします。

基本方針

- 1 環境問題に対する一人ひとりの意識向上につとめます
地球環境問題を正しく理解し、持続可能な社会の実現のために一人ひとりが行動できるよう、環境教育や啓発を通じて、意識向上を図ります。
- 2 環境保全に関する技術力の向上と提供につとめます
グループが展開する幅広い事業を活かし、各社が保有・開発する環境保全技術やノウハウの共有と社会への提供を通じて、環境負荷の軽減を図ります。
- 3 地域との連携を大切にし、環境保全に対する社会貢献につとめます
地域を中心とした関係各方面と協力し、地域環境保全の向上を図ります。また環境に関する情報公開を通じて、あらゆるステークホルダーとの対話を深めます。
- 4 環境法令の正しい理解と遵守につとめます
名鉄グループ企業倫理基本方針に則り、環境法令の理解・遵守はもちろんのこと、各社相互間の情報交換等を通じて、環境リスクの予防と低減を図ります。

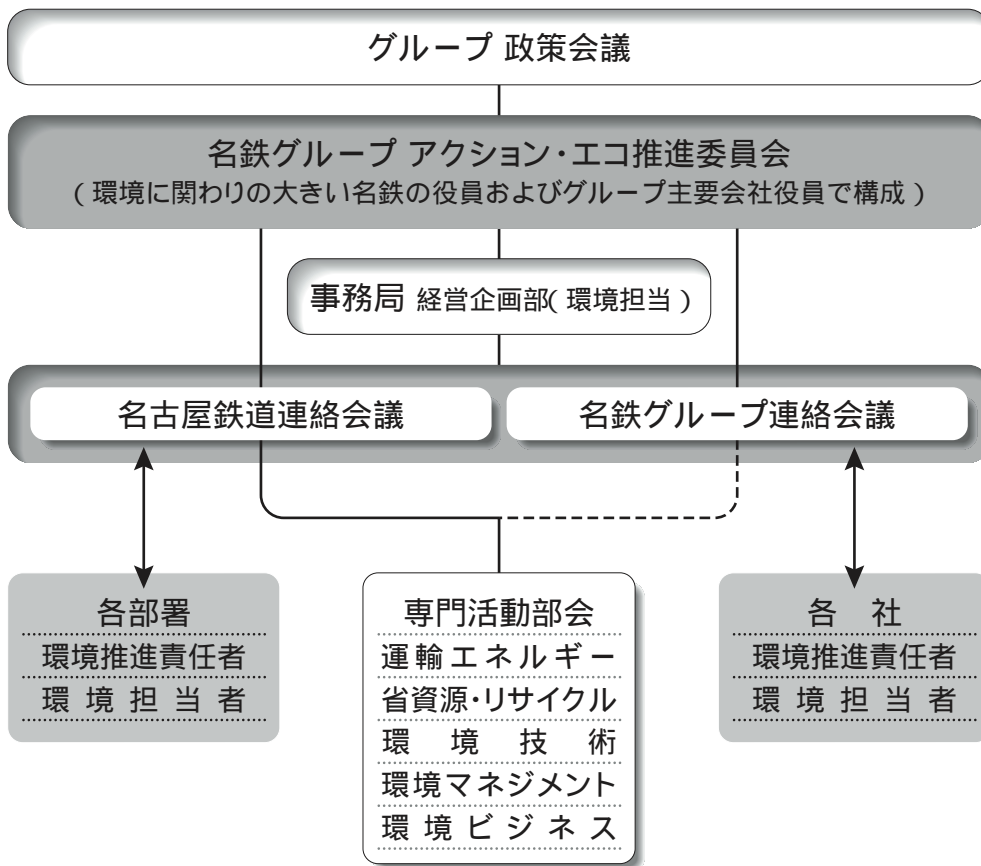
行動目標

上記の基本理念・基本方針を受け、
名鉄グループ各社毎に、環境活動における行動目標を設定します。

推進体制

名鉄グループ一体となった活動を推進するため、「名鉄グループ アクション・エコ推進委員会」を平成18年4月、新たに設置しました。この委員会では、グループ政策会議で決定される基本方針を受け具体的な施策の立案と推進を行います。

施策の実施を円滑に行うため、連絡会議の開催や、各部署・各社に配置した「環境推進責任者」「環境担当者」を通じて、活動の浸透を図っています。



アクション・エコ中期計画



アクション・エコ推進委員会

平成18年度から3か年を計画期間とする、環境活動の中期計画を策定しました。グループ環境活動の素地固めを早期に行い、様々な環境施策を効果的に展開していきながら、名鉄グループにおける環境経営を推進していきます。

アクション・エコ中期計画の概要

- 平成18年度 グループ環境方針の浸透と推進体制の確立
- 平成19年度 グループ環境経営の具体化のための施策展開
- 平成20年度 各社環境活動の定着と深度化の実現

環境マネジメントシステムの導入

名鉄グループ各社では、より環境に配慮した事業展開を行うため、各種の環境マネジメントシステムを導入しています。これにより、環境負荷の低減や環境リスクの予防はもとより、経営効率の向上などの効果も生まれています。

各種認証取得会社・認定会社

ISO14001 認証取得会社(平成18年7月現在)

会社名	取得年月	審査登録機関
名古屋鉄道(舞木検査場)	平成12年6月	JQA
矢作建設工業	平成12年8月	(財)建材試験センター
メイエレック	平成13年6月	JQA
名鉄エージェンシー	平成13年9月	JQA
山梨名鉄運送	平成14年4月	JACO
名鉄ビルディング管理	平成14年6月	(財)東海技術センター
名鉄百貨店	平成14年8月	JQA
名鉄運輸	平成14年9月	JQA
名鉄協商	平成15年2月	(財)東海技術センター
名鉄クリーニング	平成15年3月	KHK
奥飛観光開発	平成17年3月	(財)日本ガス機器検査協会

JQA:(財)日本品質保証機構 JACO:(株)日本環境認証機構 KHK:高圧ガス保安協会

グリーン経営認証 取得会社(平成18年7月現在)

バス

名古屋観光日急 宮城交通

タクシー

名鉄交通 愛電交通 名鉄西部交通 名鉄知多タクシー
名鉄東部交通 名鉄名古屋タクシー 浜松名鉄交通

トラック

信州名鉄運輸 四国名鉄運輸 名鉄ゴールデン航空
西肥名鉄運輸 東北名鉄運輸 柳島運送 東海名鉄運輸
名鉄急配 新潟名鉄 トーハイ 大阪名鉄急配 三陸貨物

名古屋市エコ事業所 認定会社(平成18年7月現在)

名鉄百貨店 名鉄協商 名鉄産業 矢作建設工業

取組み事例

名古屋鉄道(舞木検査場)



平成12年6月に中部地区の鉄道事業者として初めてISOの認証を取得しました。6年が経過し、一定の成果が得られましたが、さらなる省エネ化や産業廃棄物の再資源化を促進するため、毎月の環境管理委員会で情報収集や様々な角度からの検討と模索を継続的に行っています。

名古屋観光日急



平成16年12月に、大手貸切バス事業者としては全国で初めてグリーン経営認証を取得しました。今後も、エコドライブの一層の推進と社員の意識改革に力を入れ、一段階レベルアップした環境保全活動をめざします。

環境教育・環境監査

企業が環境活動を行う上で、従業員一人ひとりが環境問題に対して正しい認識を持つことは非常に重要なことと考えます。従業員に対しては定期的に環境教育を実施し、理解の定着を図るとともに、環境監査の実施によりその定着度合を測っています。

環境教育



名古屋鉄道では、入社時や管理職昇格時、入社後一定期間経過時等に、環境教育(研修)を行っています。研修では、環境問題の概論から当社の事業に関連する環境リスクまで幅広く解説し、それを受けて従業員一人ひとりが環境問題の解決のために何ができるかを考えさせています。

平成17年度 環境教育(研修)受講者数

新入社員研修	114名(2回)
新任駅長研修	13名(1回)
入社10・20年次研修	261名(4回)
めいてつエコクラブ (環境配慮施設視察会)	30名(1回)
合計	418名(8回)

環境監査

名古屋鉄道では、環境法令や社内規定の遵守状況を把握し徹底することを目的に、平成16年度から環境監査を実施、現在約15項目の監査項目を設けています。監査時には、監査担当者が各項目の状況と改善勧告を行い、被監査部署は改善策を検討し、速やかに改善を行います。



環境監査項目の例

廃棄物を法律や自治体の定める方法で分別し、適正に処理していますか？

環境に配慮したグリーン商品を優先して購入していますか？

使用済み乗車券回収箱に、禁忌品を混ぜていませんか？

乗車券リサイクルに支障をきたすため、クリップやホチキス針等を禁忌品として混入を禁じています。



鉄軌道

Railroad

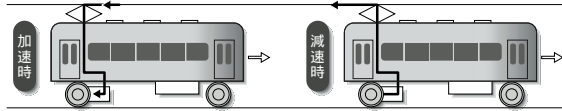
鉄軌道事業は、長い歴史を持つ名鉄グループの基幹事業です。私鉄第3位の路線長を持つ名古屋鉄道のほか、地域の足として親しまれる路面電車を走らせる豊橋鉄道、福井鉄道、また北陸地区に根付いた事業を展開する北陸鉄道などがあります。

事業の環境配慮はもちろん、京都議定書の発効を受け、環境にやさしい輸送機関として鉄軌道が見直される中、各社ではより多くの皆さまにご利用いただけることで、環境負荷軽減に貢献したいという認識のもと、より便利で使いやすいダイヤやきっぷの整備、駅施設のバリアフリー化など、輸送サービスのさらなる向上に日夜努めています。



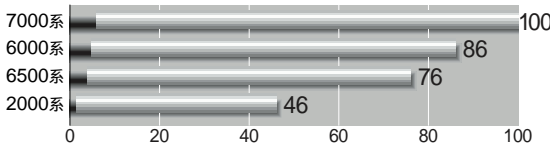
2000系車両(名古屋鉄道)

回生ブレーキの仕組み



2 再生された電力をもらって加速する。 1 ブレーキ時に、モーターを発電機として作用させ、発生する電力を架線へ返す。

名鉄の車両別消費電力の比較(指数[7000系=100])



車両の省エネルギー化

電車の運転には非常に多くの電力を消費するため、名古屋鉄道では車両の軽量化とともに、回生ブレーキやVVVFインバータ制御装置などの省エネ装置を備え、車両の省エネ化を図っています。平成17年度末までに、省エネ型車両を792両導入(1112両中)し、全体の71%となっています。

お問合せ

名古屋鉄道株式会社 経営企画部 052-588-0807

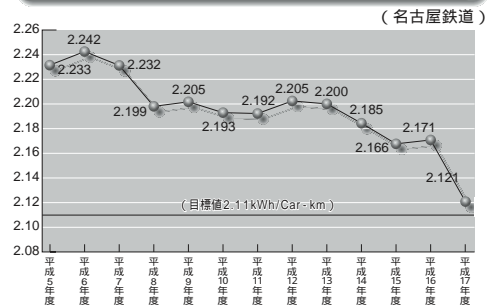
運転電力削減への取り組み

名古屋鉄道では、車両の省エネルギー化や電気設備の改良を計画的に実施しているほか、乗務員一人ひとりがダイヤの特性を理解して無駄な加速をしないように心がけるなどして、下記の目標を達成するべく取り組んでいます。

名鉄の運転電力削減目標 | 平成20年度の電車エネルギー原単位(電車1両が1km走行するのに要する電力)を平成15年度比2.5%減 2.11kWh/Car-km とする

お問合せ 名古屋鉄道株式会社 経営企画部 052-588-0807

1車両1キロ当たりの電力使用量の推移(kWh/Car-km) (名古屋鉄道)



TOPICS

「環境保全条例」への対応について

愛知県と名古屋市では、平成15年10月、事業活動において地球温暖化防止のための自主的な取り組みの促進を図る「環境保全条例」を施行し、一定規模以上の温室効果ガスを排出する事業者に対して「地球温暖化対策計画書」の作成を義務付けました。名古屋鉄道では、条例の対象となる各事業所について、条例に基づく計画書を作成しています。詳しくは、下記までお問合せください。

お問合せ | 名古屋鉄道株式会社 経営企画部 052-588-0807 (月-金10時-17時) action-eco@nrr.meitetsu.co.jp

電力施設の省エネルギー化

力率改善コンデンサー の設置

変電所で受電する電力のエネルギー効率を向上させるため、力率改善コンデンサーの設置を推進しています。名古屋鉄道では、平成5年度から順次進めており、現在35変電所中、11変電所で使用しています。

き電線 の強化

電力損失の低減化を図るため、き電線を太くするなどの強化を進めています。

上下一括き電方式の導入

架線に流す電力の損失低減と、回生電力の有効活用を図るため、名古屋鉄道ではほとんどの線区で上下一括き電方式を採用しています。上下線のき電線を接続して、走行中の電車までの最短距離で変電所からの電力を流すことができます。また、回生ブレーキによって発生させた電力を上下線の車両で有効に使えるメリットがあります。

お問合せ

名古屋鉄道株式会社 経営企画部 052 - 588 - 0807



電車線の保守(名古屋鉄道)



電気指令所(名古屋鉄道)



名鉄国府宮駅駐車場

パーク&ライド駐車場の整備

マイカーを使ったライフスタイルにおいても、鉄道利用をうまく組み込んでいただきやすくするため、鉄軌道各社では駅周辺にパーク&ライド駐車場の整備をすすめています。名古屋鉄道では、沿線に約2万台の駐車を整備しています。一部の駐車場では、乗車券をお持ちのお客さまを対象に、プレミアム付駐車券をさらに割引して発売し、パーク&ライドの推進を図っています。

お問合せ

名古屋鉄道株式会社 経営企画部 052 - 588 - 0807

TOPICS

ICカード乗車券の導入

北陸鉄道では、読み取り機にタッチするだけで運賃精算ができるIC(Integrated Circuit)カード乗車券「ICa(アイカ)」を平成16年12月に導入しました。1枚のカードを繰り返し使えるため、使用済み乗車券の発生を抑制することができます。また、乗継割引のサービスやチャージ時にプレミアムを付加するなど、環境にやさしい移動手段として、よりご利用いただきやすい仕組みもあわせて整備しています。



お問合せ | 北陸鉄道株式会社 自動車部 076 - 237 - 8115

P39の用語解説をご参照ください。



バス

Bus

バス事業は、鉄軌道事業とともに、地域の皆さまの足として親しまれてきました。名鉄バスをはじめ、岐阜乗合自動車、知多乗合、宮城交通などが各地域に密着した路線網を広げています。また、旅行やイベント輸送などの観光バス事業を、名古屋観光日急、名鉄東部観光バス、名鉄西部観光バス等が営んでいます。

バス事業各社では、排ガス規制に伴い環境に優しい車両に更新を順次進めている

のはもちろんのこと、ノンステップバスなど人にも優しい車両の導入を進めています。一部の会社では「グリーン経営認証」を取得するなどして、さらに環境に配慮した事業展開を行っています。



電気式ハイブリッドバス(名鉄バス)

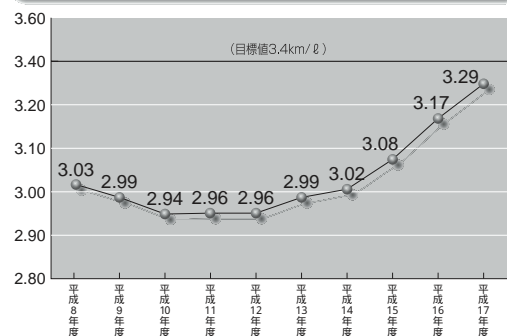
燃費向上の取り組み

燃料の無駄遣いは、有限資源の枯渇をもたらすだけでなく、使用時に排出される二酸化炭素等によって環境汚染も引き起こします。各社では、アイドリングストップの励行は当然のこと、各社各ドライバーが一定の燃費向上目標を掲げて「エコドライブ」を推進しています。名鉄バスでは、以下の目標を達成するべく一人ひとりが努力しています。

名鉄バス燃費向上目標
平成18年度までにバスの燃費を1ℓ当り3.4kmとする

お問合せ 名鉄バス株式会社 管理部 052 - 588 - 0876

名鉄バスの燃費の推移 (km/ℓ)



デジタルタコグラフ分析風景

デジタルタコグラフの導入

燃費のさらなる向上を目指して、乗務員の運転を科学的に分析できるよう、名鉄バスではデジタルタコグラフの導入を進め、平成16年度までに、全ての車両への設置を完了しました。

導入自体が直接燃料の使用量を減らすわけではなく、乗務員の燃費に対する意識を変えることに意義があります。運転後、乗務員がパソコンで自身の結果を分析し、より効率的で環境負荷の少ない運転方法の見直しに努めています。

お問合せ 名鉄バス株式会社 管理部 052 - 588 - 0876

P39の用語解説をご参照ください。

ハイブリッドバスの導入

補助動力として電動機を搭載しており、減速時の制動エネルギーを電動機で電気エネルギーに変換し、加速時の動力として活用できる仕組みのバスです。加速時に主動力のディーゼルエンジンの負担を軽くでき、かつ大気汚染の原因となるSO_xや黒煙の排出を抑制できるため、環境にやさしいバスといえます。岐阜乗合自動車では、平成17、18年度に3台導入し、主に交通量の多い岐阜市内の路線で運転を行っています。

お問合せ

岐阜乗合自動車株式会社 交通政策室 058-293-5140



ハイブリッドバス

環境定期券制度の導入

名鉄バスでは、普段からバスを通勤・通学でご利用のお客さまに対して、休日の移動もマイカーではなくバスをご利用いただこうと、定期券をお持ちのお客さまを対象に、通常の運賃を割引く「環境定期券」制度を実施しています。土曜・休日に定期券のご利用区間外のバス路線(一部除く)に1乗車100円でご利用いただけるサービスを展開しています。

お問合せ 名鉄バス株式会社 管理部 052-588-0876



日帰りバスツアーハイキング

名鉄沿線を飛び出して、東海北陸および関西地方などに広がる身近で雄大な自然を、手軽に日帰りで堪能していただく「バスツアーハイキング」を、名鉄グループ各社とともに開催しています。気軽な価格設定と、豊富で魅力あるコース作りにつとめ、年間約4万6千人のお客さまにご参加いただき、自然の恵みと大切さを実感していただいています。

お問合せ 名古屋鉄道株式会社 営業部 052-588-0857

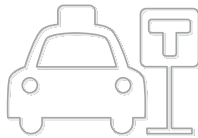
TOPICS

燃料電池バスの運行実証実験

知多乗合は、国土交通省の燃料電池バス実用化促進プロジェクトの一環として、愛・地球博の会場間輸送に使用された燃料電池バスの運行をトヨタ自動車・日野自動車から受託し、平成18年3月の第1期試験運行に続き、同7月21日から、中部国際空港島内のセントレア水素ステーションの開所に合わせ、名鉄知多半田駅～空港間と空港内循環線において公道走行試験を実施しています。



お問合せ | 知多乗合株式会社 運輸部 0569-21-5233



タクシー

Taxi

タクシー事業は「名タク」の愛称で親しまれる名鉄交通をはじめとして、東海北陸地域を中心に事業展開しており、地域の足として質の高いサービスを提供しています。

タクシーは燃料としてLPガスを使用していますが、これはガソリン車に比べて排気ガスが極めてクリーンで、エンジン寿命も長いという特徴があります。

名鉄交通や名鉄東部交通など多くの会社がグリーン経営の認証を取得しており、低燃費車両の導入、エコドライブやアイドリングストップの推進、GPS - AVMシステム(車両位置等自動表示システム)の導入など様々な取り組みを通じて、環境に配慮したエコ経営を進めています。



グリーン経営を推進する「名タク」



雨水を活用して洗車

洗車水への雨水循環利用

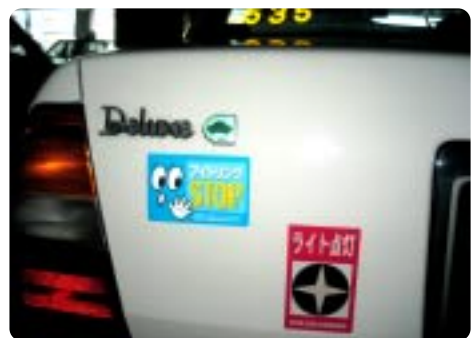
名鉄交通中川基地では、貯水槽に溜めた雨水をろ過して化学的な処理を施し、洗車に使ったら再び貯水槽に循環する設備を完備しました。これにより洗車による水資源の消費をゼロに抑えています。

お問合せ 名鉄交通株式会社 グリーン経営推進室 052 - 331 - 2221

アイドリングストップ車の導入

アイドリングストップ車は、停車するとエンジンが自動停止するため、燃料消費と排気ガスを少なくすることができます。名鉄交通では、運転士には駐停車中のアイドリングストップを指導するとともに、アイドリングストップ車を5台テスト導入し、その耐久性や操作性を検証しています。

お問合せ 名鉄交通株式会社 グリーン経営推進室 052 - 331 - 2221



ステッカーでアイドリングストップ車をPR

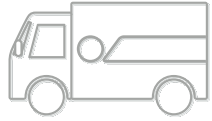


GPS-AVMシステムを活用した配車

GPS - AVMシステムの導入

名鉄四日市タクシーでは、同システムを全車に搭載し、配車のご注文をいただいたお客さまの一番近くの空車を瞬時に選んで配車し、お迎え時間を短縮しています。余分な走行を減らすことで省エネと排ガス削減につなげています。

お問合せ 名鉄四日市タクシー株式会社 企画部 059 - 353 - 4321



トラック

Transport

トラック事業は、「こぐま」のマークで親しまれている名鉄運輸を中心として、貨物やコンテナ輸送をはじめ、宅配システムや引越便などの名鉄流通ネットワークを全国に構築して事業を営んでいます。

貨物輸送サービスという事業から生じる環境への様々な影響を軽減することが、社会的責任の一つと認識して、ISO14001 認証取得(名鉄運輸、山梨名鉄運送)やグリーン経営認証取得を各社が進めるとともに、エコドライブの推奨や天然ガス自動車などの低公害車の導入など積極的に取り組んでいます。



低公害車(名鉄運輸)

02

環境



社員同士で積極的な意見交換

現場での地道な取り組み

グリーン経営認証を取得した東北名鉄運輸青森支店では、4つの部会(エネルギー節約・クリーンエネルギー、省資源・リサイクル、産業廃棄物管理・削減、グリーン経営推進)をつくり、定期的に進展状況の意見交換を行って、「燃費の削減」「ゴミの削減」等、一つひとつ改善に向けた取り組みを進めています。

お問合せ 東北名鉄運輸株式会社 営業部 019 - 637 - 1040

社外美化運動の展開

山梨名鉄運送では、重点施策としてトラックの燃費向上の目標を設定し取り組んでいます。毎月実施している安全会議で「社外美化運動」が提案され、社外の清掃を実施しました。これからも全従業員が共通の認識を持って環境負荷の軽減に取り組んでいきます。

お問合せ 山梨名鉄運送株式会社 総務部 055 - 273 - 7911

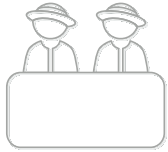


美化活動に取り組む社員

低公害車の導入

四国名鉄運輸では、2トン車の代替車としてCNG(圧縮天然ガス)車、LPG(液化石油ガス)車、ハイブリッド車を導入しています。LPG車は黒鉛、粒子状物質の発生を限りなくゼロにし、窒素酸化物や一酸化炭素の発生低減を実現して環境の保全に大きく貢献するとともに、騒音・振動が少なく静粛性や快適性に優れています。

お問合せ 四国名鉄運輸株式会社 総務部 089 - 972 - 1231



流通

Commerce

百貨店事業では、名鉄百貨店と金沢名鉄丸越百貨店が、名古屋・一宮および金沢でそれぞれ百貨店を営んでいます。また、小売業では名鉄駅構内・ホームで売店やコンビニエンスストアを運営する名鉄産業や各種物販や駐車場、リースなどを運営する名鉄協商などが多方面にわたって事業を展開しています。



名鉄百貨店本店

百貨店

名鉄百貨店を中心に、「地域のお客さまに、良い商品・良いサービス・良い環境を通じて手の届く高級感を提供し、お応えする」を営業の基本に環境と人にやさしい百貨店をめざしています。ISO14001の認証取得(名鉄百貨店)をはじめ、営業部門のみならず外販部門・事務部門を含め全部署で全員が環境活動に取り組み、環境にやさしい商品の販売を吟味して展開するなど積極的な取り組みを続けています。



「ウォームビズ」対応商品の販売



エコバッグ

めいてつエコバッグ

名鉄百貨店では、環境保全に賛同いただいたお客さまにお買求め、ご利用いただいております。エコバッグ1つにスタンプカードが1枚ついており、バッグを利用して商品をお持ち帰りになる場合にお買上げ1,000円(税込)以上で、1日1個スタンプを押し、スタンプが10個になると500円のめいてつお買物券と引替えています。

お問合せ 株式会社名鉄百貨店 環境サービス部 052-585-2470

環境配慮商品の販売

名鉄百貨店のエコ商品選定基準をクリアした環境配慮商品(ゲンテン、ウィズユー、クールビズ・ウォームビズ対応商品等)を販売しています。

ゲンテン(本館5階): 環境を守る新しいライフスタイルを提案するゲンテンの商品は、環境に配慮した自然素材を使っています。

ウィズユー(本館9階): お客さまの商品をお預りして、お客さまにかわって販売するリサイクルショップです。

紳士服(本館3階): お客さまのビジネスシーンに対応する、カジュアルになりすぎないクールビズ・ウォームビズスタイルを提案しています。

(階数は平成18年6月末現在です。)

お問合せ 株式会社名鉄百貨店 環境サービス部 052-585-2470



ゲンテン

小売業

ISO14001の認証取得(名鉄協商)をはじめ、環境方針に則り目的や目標を定めて継続的な改善活動を実施するとともに、直営売店での「レジ袋削減ひと言声かけ運動」の実施(名鉄産業)などお客さまにもご協力いただき、環境に配慮した企業活動を進めています。また、新しいアイデアを取り入れた環境ビジネスにも取り組んでいます。



名鉄産業売店「サンコス金山店」



乗車券リサイクルベンチ(名鉄中部国際空港駅)

各種リサイクル製品の企画・製造

名鉄協商では、環境保護と産業廃棄物の減量を目指し、多様な循環型リサイクルシステムを提案しています。特に使用済み紙製乗車券やPETカードを中心とした独自の回収システムと、それらを材料としたリサイクル製品の企画から製造までを、全国の鉄道・バス会社や官公庁、企業などに提案、採用いただいています。

お問合せ

名鉄協商株式会社 リサイクル・包材事業部 052-582-1094

TOPICS

マイフェアガーデン(屋上庭園)

名鉄百貨店本館屋上マイフェアガーデンのイングリッシュガーデンは、お客さまがふと足を止めてお買物の疲れを癒される名古屋駅のオアシスであるとともに、ヒートアイランド現象を癒す地球温暖化対策など環境配慮活動の象徴ともいえる存在です。



お問合せ | 株式会社名鉄百貨店 環境サービス部 052-585-2470



不動産

Real Estate

不動産事業では、名鉄不動産を中心に北陸名鉄開発など各社が土地建物の販売、賃貸借、不動産の仲介、建設工事の設計・施工・監理などの事業を展開しています。

最近話題になっているLOHAS(健康と環境意識の高いライフスタイル)の考え方を取り入れ、安心して健康的な住まいづくりを提案し、質の高い商品・サービスの提供に努めています。設計・建築から販売に至るそれぞれのプロセスにおいて環境負荷の軽減に配慮し、省エネ設計や有害化学物質の削減、周辺環境と調和した街づくりなどに積極的に取り組んでいます。



犬山もえぎが丘の街並



岡崎タワーレジデンス(イメージ)

環境配慮型マンションの販売

名鉄不動産では、生ゴミ堆肥化プラントの導入や壁面緑化・屋上緑化の導入、24時間換気、室内のホルムアルデヒド対策など環境配慮型マンションの建設に努めています。また、自然素材・天然木など健康配慮型素材の導入やエアシャワー、集光装置、デイスパーザーの導入、オール電化などに取り組んでいます。

お問合せ 名鉄不動産株式会社 マンション販売部 052-581-1278

戸建て住宅での環境配慮

名鉄不動産では、オール電化や家庭用コジェネレーションシステムの導入、駐車場の緑化、内装材として珪藻土や無垢材の使用、断熱効果の高いペアガラスの採用、24時間換気、ノンホルマリン・ノンアスベストの導入など環境負荷低減と健康に配慮した住宅の建設に努めています。郊外の団地ではスローライフな生活スタイルを提案するなどソフトの提供も検討していきます。

お問合せ 名鉄不動産株式会社 戸建住宅事業部 052-581-1223



メイトウン岩塚(イメージ)

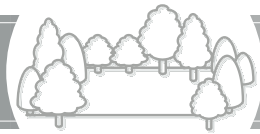
TOPICS

みんなの夢のECO HOUSEコンテストの開催

「こんな環境にやさしい家があったらいいね」をテーマに、健康的で環境にやさしく、自然との共存を感じられる住まいのアイデアを一般公募し、10月に開催される「メッセナゴヤ2006～環業見本市」の名鉄不動産ブースで優秀作品を発表・展示します。

お問合せ | 名鉄不動産株式会社 総務部 052-581-1221





開発

Development

開発事業は、主に土地建物分譲業と土地建物賃貸業からなります。分譲は大規模な団地開発を中心とする宅地分譲を、当社沿線地区と北陸地区で行っています。賃貸業では、さまざまな地域に大小の商業施設を建設し、ビルの賃貸事業を展開しています。

宅地開発では周辺との環境の調和に配慮した街づくりを進め、新しいライフスタイルを提案できるような開発に取り組んでいます。テナントビルでは、名駅南地域冷暖房プラントビルをはじめ、環境負荷の軽減に寄与する新しい技術を積極的に導入しています。



名駅南地域冷暖房プラントビル



コジェネレーションシステム(名鉄新一宮ビル)

コジェネレーションシステムの導入

都市ガスで自家発電を行うと同時に、発電時に出る廃熱も有効利用するコジェネレーションシステムを名鉄新一宮ビルで導入しています。エネルギー効率は、電力会社から送られてくる電力が35%程度であるのに対し、このシステムでは70~90%となっています。

このほか、名鉄新一宮ビルと名鉄長住町ビル(岐阜市)には雨水利用システムを導入しています。雨水は処理されたあと、トイレの洗浄水などに利用されます。

【お問合せ】名古屋鉄道株式会社 経営企画部 052-588-0807

都市ビルの維持・管理

名鉄ビルディング管理は、各種の国家資格をもち管理業務に熟達した技術者により、顧客の信頼を得る高品質なサービスを提供するとともに、環境保全の重要性を認識し、環境負荷の低減に全従業員あげて取り組むため、ISO14001の認証を取得し、ビル管理業務を通じた環境負荷軽減の取り組みを進めています。また、お客さまにはエコユニット(電力削減装置)など環境負荷を低減するシステムの導入をご提案しています。

【お問合せ】名鉄ビルディング管理株式会社 総務部 052-551-0710



「エコユニット」

TOPICS

名古屋ルーセントタワー における環境配慮

平成19年1月の竣工をめざして工事の進む名古屋ルーセントタワーでは、外壁材への光触媒タイル使用(NO_x 、 SO_x の分解効果はポプラ樹木約250本に相当)や1,500 m^2 に及ぶ緑地形成によるヒートアイランド現象の軽減など、様々な環境負荷低減のための配慮がなされています。

【お問合せ】名古屋鉄道株式会社 ビル事業部 052-588-0882

名古屋鉄道、中部電力、トヨタ自動車、住友生命保険、大成建設、個人1名による共同事業





ホテル

Hotel

ホテル事業においては、名鉄グランドホテルをはじめ中部圏の主要な交流拠点に立地する都市型ホテル、岐阜グランドホテルなど大型コンベンションの機能を併せ持つリゾート型ホテル、中部国際空港のセントレアホテルなどを運営しています。名鉄不動産では、宿泊特化型ホテルをチェーン展開しています。

ホテルサービスの事業活動から生じる環境負荷の低減を進めつつ、同時に優れたサービスと商品を提供していくため、環境マネジメントシステムの導入、省エネルギーなどにも積極的に取り組んでいます。



中部国際空港セントレアホテル

ISO14001 認証の取得

名鉄グランドホテルでは、「環境にやさしいエコホテル」の実現のため、ISO14001による環境マネジメントシステムの導入・構築(平成18年度中を予定)を進めています。システムの運用を通じて、環境負荷低減への取り組みに併せ、お客さまに満足いただける優れたサービスと商品の提供に努めていきます。

お問合せ

株式会社名鉄グランドホテル ISO取得準備室 052 - 582 - 2236



キックオフ大会



貫流ボイラー

ESCO事業の導入

岐阜グランドホテルでは、設備の老朽化更新にあたりESCO事業を採用し、高効率ターボ冷凍機、高効率蒸気ボイラー、インバーター制御の導入、外気冷房CO₂制御の導入など省エネルギー効果の大きな設備更新を単年度で実施しました。15%のエネルギー削減を実現しながらも快適性の向上を図りました。

お問合せ 株式会社岐阜グランドホテル 総務部 058 - 233 - 1118

P39の用語解説をご参照ください。



レジャー

Leisure

文化テーマパーク事業として、博物館明治村をはじめリトルワールド、日本モンキーパーク、南知多ビーチランドなどを運営するほか、新穂高と中央アルプス駒ヶ岳のロープウェイ事業では、中部山岳地帯の雄大な自然をお楽しみいただいています。また、伊良湖や犬山などでゴルフ場やリゾート施設の運営を行っています。

これらの施設では、お客さまが豊かな自然に身近に接していただけるよう、周辺地域の自然環境の保全に細心の注意を払うとともに、環境負荷の低減に努めています。また、お客さまに環境の大切さを知っていただくイベントの開催等にも力を入れています。



新穂高ロープウェイ

環境イベントの開催



どんぐりの苗植え会(日本モンキーパーク)

自然と親しみ、関心を持っていただくことで多くの皆さまに自然保護や環境の大切さを感じ取っていただくことは、大変意義深いことだと考えます。日本モンキーパーク(犬山市)・南知多ビーチランド(愛知県美浜町)では、体験型の環境イベントを開催しています。

お問合せ 株式会社名鉄インプレス 営業企画部 052-588-0887

平成17年度 開催された主な環境イベント

日本モンキーパーク		南知多ビーチランド	
環境イベント名	参加人数	環境イベント名	参加人数
春	食べるのみちやお!	地引き網体験	2,735名
	どんぐり苗植え会 ほか		1,530名
夏	光合成ペンダントをつくろう	バックヤードツアー	2,613名
	動物園裏側探検 ほか	1,400名	海の学習講座
秋	どんぐりを探して比べよう	魚のつかみどり	555名
	いもほり体験 ほか	420名	動物とのふれあい
冬	たき火にあたるサル	その他	147名
	アフタヌーン・ズー ほか	680名	
(小計)			4,200名
学芸員によるレクチャー			8,180名



技術

Technology

設備の保守整備、建設事業、情報サービスなどにおいて、社会ニーズに合った事業を意欲的に展開し、人と地球にやさしい環境と生活空間を最新技術で実現しています。

建設工事や保守作業を中心とした事業展開の上で環境マネジメントシステム導入への取り組みも早く、事務部門でも省エネ・省資源など積極的な取り組みを進めています。ISO認証は、矢作建設工業、メイエレクトリック、名鉄エージェンシーが取得しています。



パソコン教室(メイテツコム)



リユース活動(踏切遮断機の整備作業)

統合マネジメントシステムの運用

メイエレクトリックは品質、環境、労働安全衛生の各マネジメントシステムを統合した三位一体型の統合マネジメントシステム(IMS)の運用証明書(審査機関独自発行)を東海地区では初めて取得しました。IMS運用の定着化により企業価値を高めていくとともに、その一環として環境対策を位置付け、事業部門の取り組み(省エネ・省資源)と工事・保守部門の取り組み(3Rと建設廃棄物の適正処理)を実現し、環境負荷の低減を推進しています。

お問合せ

株式会社メイエレクトリック マネジメント監理部 052-678-1687

TOPICS

ヒートアイランド抑制舗装クールペーブ

瀬戸地区で産出する珪砂のうち粒子が細かすぎてガラス原料に適さない微粒珪砂を活用した保水性アスファルト舗装「クールペーブ」は、保水性と吸水性に優れた微粒珪砂が舗装内部の水分を蒸発させることで気化熱を奪い、路面温度の上昇を抑えます。微粒珪砂を混合した保水性ブロック舗装「蒸発散KLB」とともに、都会のヒートアイランド現象を抑制します。



クールペーブ施工例(名鉄豊田市駅前広場)

お問合せ | 矢作建設工業株式会社 土木技術部 052-935-2389



クライアントへの提案風景

環境をテーマにした コミュニケーション商品の企画開発

名鉄エージェンシーでは、環境をテーマにしたコミュニケーション商品(広告、広報、キャンペーン、イベントなど)を積極的に企画開発し、クライアントへ継続的に提案していくとともに、印刷制作物やイベント施工部材のグリーン調達、イベント実施における環境対応を推進しています。

お問合せ 株式会社名鉄エージェンシー 総務部 052-582-4102

HSST(常電導磁気浮上システム)の実用化

名鉄と愛知県が中心となって設立した中部HSST開発が長年開発を進めてきたHSSTが、東部丘陵線(愛称:リニモ)において実用化され、昨年開催された愛・地球博へのアクセスとして活躍しました。

HSSTは、浮上走行のため振動や騒音が少なく、沿線環境にも優しい快適な乗り物です。建設コストや保守費用の低減が可能など新しい都市交通システムとして優れた特徴を持っています。

お問合せ 中部HSST開発株式会社 総務部 052-569-1453



東部丘陵線を走行するリニモ



愛・地球博 グローバル・ループ

環境に配慮した部材の活用

名鉄環境造園は、愛・地球博のグローバル・ループのウッドデッキ施工を請負いました。その際、天然資源保全のため、ブラジルの人工林から持続可能な管理下で産出されるユーカリサリグナーSPを使用しました。また、エコアール処理を施し、高耐久性・高寸法安定性を確保した国産杉間伐材を使用したウッドデッキ・東屋等を提案し、森林資源の有効活用を図っています。

お問合せ 名鉄環境造園株式会社 総務部 052-822-2841

機内食工場の環境配慮設備

中部国際空港の開港に合わせて運用を開始した名古屋エアケータリングの新工場は、環境との共生を基本に、省エネルギー、廃棄物の低減、リサイクルを追求した施設としました。生ゴミはディスポーザー方式により、ハイブリッドバイオーレ式排水処理施設で処理し、また、中水をトイレ、ディスポーザー、洗車機に利用するなど、様々な工夫を凝らしています。

お問合せ 名古屋エアケータリング株式会社 総務部 0569-38-7900 ハイブリッドバイオーレプラント





省資源・リサイクル Recycle

限りある資源を有効に使うこと、すなわち3R (Reduce Reuse Recycle) は環境活動の基本です。いかなる事業においても、廃棄物に対する取り組みは切っても切り離せない問題です。各事業において、省資源・リサイクル活動を推進することはもとより、これらを一つの事業として展開し、循環型社会の構築に寄与することで、地域社会全体の環境負荷軽減にも貢献しています。



名鉄中部国際空港駅床材(再生材混合タイル)



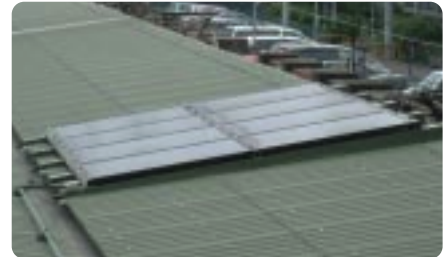
乗車券リサイクル品の数々

使用済み乗車券のリサイクル

名古屋鉄道では、平成8年から使用済み乗車券のリサイクルシステムを構築しています。年間約60t発生する使用済み乗車券を、資源として再活用し産業廃棄物の削減を行っています。駅のベンチや分別ボックス、トイレトーパー、封筒やファイル等への再生や、サーマルリサイクルの活用によって、リサイクル率100%のシステムを構築しています。

自然エネルギーの活用

太陽光や風力、雨水などの自然エネルギーの活用を進めています。名古屋鉄道では、尾張瀬戸駅を「環境モデル駅」として駅で使用するエネルギーや水の一部を自然エネルギーで賄っています。



太陽光パネル(名鉄尾張瀬戸駅)



蛍光灯リサイクル作業

使用済み蛍光灯のリサイクル

蛍光灯には水銀が含まれており、そのまま廃棄すれば土壌汚染を引き起こす恐れがあります。名古屋鉄道やメイエックでは、使用済みの蛍光灯の水銀を回収し、ガラス製品等にリサイクルができる業者へ処理を委託しています。

TOPICS

各種古紙リサイクルシステム

事業を営む上で排出される多種多様な古紙は、リサイクルによって再資源化することに加え、情報漏洩にも配慮して処理することが求められています。名鉄協商では、乗車券リサイクルシステムで培ったクロードシステムを活かし、情報漏洩と資源循環の両面から古紙の処理を推進します。

| お問合せ | 名鉄協商株式会社 リサイクル・包材事業部 052 - 582 - 1094



オフィスのエコ Eco-Office

オフィスの環境活動は、廃棄物の分別から省エネルギー、グリーン購入 にまで至ります。身近で幅広いオフィスでの取り組みは企業の環境活動の基本として位置付け、地道に継続的に取り組んでいます。

一つひとつの取り組みは小さなものですが、様々な活動によって環境への意識向上とその定着を図り、もって事業における環境配慮を促進していきたいと考えています。



裏紙活用ボックス



分別ボックス群

多分別ボックスの設置

オフィスで発生する多種多様の廃棄物を、資源として可能な限り有効に利用したいという思いから、多分別ボックスの設置を行っています。名鉄エージェンシーでは約10種類の分別ボックスを事務所に設け、清掃業者の協力を得ながらより多くの廃棄物の資源化を目指しています。

グリーン購入方針の策定

環境に配慮した資材や物品の購入を行うグリーン購入を進めています。名古屋鉄道では、グリーン購入の一層の促進を図るため、購入の際の指針となる「グリーン購入方針」を平成15年に策定しています。なお、名古屋鉄道における事務用品のグリーン購入率は59%です(平成17年度、金額ベース)。



PET素材作業服(名古屋鉄道)



クールビズ実践中の事務所

クールビズ

夏季および冬季に運転する空調機器は、比較的大きなエネルギーを消費するため、地球温暖化の影響の一因とも言われています。平成17年から環境省が温暖化防止行動として提唱した「クールビズ」の趣旨に賛同し、勤務時の服装を軽装にすることで、空調の設定温度を28 前後に設定する取り組みを各社で実施しました。

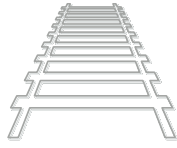
TOPICS

環境配慮商品購入システム

より多くの事務用品を、手軽にかつ効率的に環境配慮商品に切替えたいというニーズに応えるため、名鉄協商では環境配慮商品の購入システムを提案しています。カタログからエコ商品を手軽に選択でき、また購入後はパソコンを使用してグリーン購入実績を手軽に集計することもできます。

| お問合せ | 名鉄協商株式会社 営業部 052 - 581 - 6601

P39の用語解説をご参照ください。

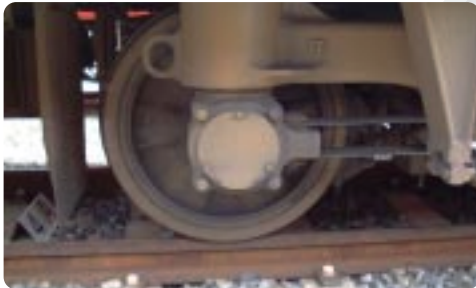


沿線環境保全 Preservation

工場の稼働や鉄軌道の運行など、事業によっては、いわゆる公害型環境問題が発生するケースがあります。それぞれのケースに対して、まずは未然に防ぐ手段を講じることを基本とし、万一問題が発生した場合にはその状況を真摯に受け止め、改善を行うよう努めています。



路盤整備作業



ゴムサンドイッチ型の防音車輪(名古屋鉄道)

騒音の防止

鉄軌道の運行時に発生する騒音に対して、少しでも低減できるように様々な対策を施しています。名古屋鉄道では、レールの継目をなくして電車通過時の「ガタンゴトン」という音を減らすロングレール化を推進しています。また、特急車両を中心に、カーブを曲がる時に発生する「キーキー」というきしり音を抑える防音車輪の導入も進めています。

振動の防止

鉄軌道各社では、電車の通過時の振動を減らすため、レールの重量化やPCマクラギ化などの対策工事をすすめています。加えて、車両の軽量化や保守作業時に防振型機器を導入するなどして、様々な場面での振動抑制に努めています。



防音型マルチプラスチックタイタンバー(名古屋鉄道)

オゾン層破壊物質の取り扱い

ビルや鉄道・バス車両の空調機器のうち、一定年数以上前に導入したのものには、冷媒としてフロンが使われているケースが多くあります。使用箇所においては、可能な限り、代替フロン化あるいは非フロン化を進めています。

TOPICS

車輪フラット検出装置

車輪踏面に発生したフラット・剥離・熱亀裂を早期に発見する装置を名古屋鉄道と共同開発により、平成11年に導入し、業務効率化と騒音・振動低減に大きく寄与しています。また、最近では日本貨物鉄道殿、首都圏新都市鉄道殿(つくばエクスプレス)等で導入いただくなど、全国展開しています。(特許 第3620790号)



車輪測定状況

| お問い合わせ | 株式会社メイエレック 研究開発部 052-678-1895

P39の用語解説をご参照ください。



PCB保管庫(名鉄舞木検査場)

PCB廃棄物の取り扱い

過去に使用していたPCB(ポリ塩化ビフェニル)を含んだコンデンサーなどの電気機器類を、法律に基づき漏洩のないよう厳重に保管しています。

平成17年に愛知県内に処理施設が稼動したことを受け、名古屋鉄道では愛知県条例に基づき、平成18年度中に処理を開始することを盛り込んだ「PCB廃棄物処理計画」を提出しています。

また、微量PCB廃棄物問題に対応するため、関係各社においてPCB混入の有無を調査し、適切な処理ができるよう努めています。

アスベストの取り扱い

平成17年度中に、アスベストの使用された施設、鉄道車両について調査を行い、適切に対応を進めています。名古屋鉄道では、使用が確認された鉄道車両を平成17年度から廃車を進めており、未廃車車両についても飛散のないよう固定するなどの対策を施しています。また、神宮前駅では平成17年10月中に囲い込み工事を終了、名鉄バスセンターについては平成17年12月より順次閉鎖して完全撤去工事を進めています。



アスベスト囲い込み工事を行った名鉄神宮前駅

公害対策委員会の設置

名古屋鉄道では、沿線環境保全に関わる対策を一元的に検討し、速やかに対策を整え実行できるよう、専門の対策委員会を設置しています。騒音振動問題のほか、アスベスト対策についても適切な対応ができるよう、検討を随時進めています。

TOPICS

軌条踏面塗油装置

列車が急曲線部分を通過するときに発生する、周波数の高い不快な「きしり音」を低減させる装置を名古屋鉄道と共同開発により、昭和62年に導入し、騒音低減に大きく寄与しています。また、横浜高速鉄道殿で導入いただくなど、全国展開しています。



装置設置状況

| お問合せ | 株式会社メイエレクトリック 鉄道機器部 052 - 678 - 1843



自然環境保護 Conservation

かけがえのない豊かな自然環境を未来に引き継ぐことは、今この時代に生きる者の義務であり使命であるといえます。貴重な自然環境を守り、さらに豊かな自然を育ていけるよう、企業市民の一員として様々な取り組みを進めています。

里山の保全



里山ハイキング

名古屋鉄道は、知多半島の南部、愛知県美浜町に約18haの里山を保有しています。当社ではこの里山を美浜町に提供し、町が進めている「里山保全事業」に協力しています。平成12年12月から毎年美浜町が実施している自然観察会には、地元の方々も多くご参加され、里山のよさを、身をもって感じていただいています。

今後も、里山を通じて「環境にやさしい」地域づくりに協力していきます。

森林の整備



鍋平高原に植樹を行う社員

奥飛観光開発では、事業エリアが自然公園であることも考慮して、さらに環境に配慮した事業展開が必要であるという認識にたち、観光ロープウェイとしては初めてISO14001認証を取得しました。取得を機に、新穂高地区の貴重な自然を保全しながら、より自然に親しめる環境の整備に努めています。

環境モデル路線

名古屋鉄道では、瀬戸線を「環境モデル路線」として位置付けて、様々な環境配慮を施しています。リサイクル品の利用や省エネルギー対策設備の設置など、環境にやさしい施設づくりに努めています。



廃残土を含んだブロックで仕上げたホーム

平成13年4月に新築し、使用開始した尾張瀬戸駅は「環境モデル駅」として、ホーム仕上げ材に瀬戸産廃残土(珪砂)を含んだブロックの使用、乗車券リサイクルベンチの設置のほか、太陽光発電システムの導入、雨水をトイレの洗浄水に活用できるシステムの導入を行うなど、環境に配慮した設備、材料を導入しています。

また、瀬戸線を管轄する駅・乗務区等では、定期的に環境に関する標語を従業員から応募、掲示して意識の高揚を図るとともに、省エネ運転の研究や食事で使用した割箸のリサイクルにも取り組むなど、日頃から環境に配慮した取り組みを行っています。

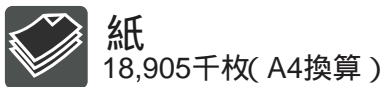


尾張瀬戸駅外観

環境負荷データ

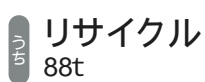
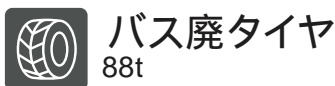
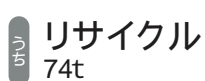
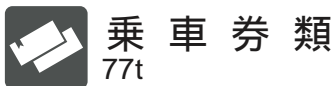
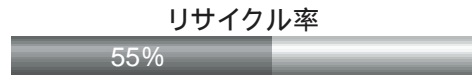
名古屋鉄道(株)(株)名鉄インプレス、名鉄バス(株)の合計数値

INPUT



訂正 平成16年度環境報告書に掲載の「環境負荷データ」(p.22)に一部誤りがありましたので訂正いたします。
INPUT欄 紙(A4換算)【誤】9,142千枚 ⇒ 【正】19,215千枚

OUTPUT



○集計範囲:名古屋鉄道(株)、(株)名鉄インプレス、名鉄バス(株)の事業範囲
○産業廃棄物の数値には、電車・バス乗車券類、バス廃タイヤの数値を含まない。
○二酸化炭素排出量は、環境省「事業者からの温室効果ガス排出量算定方法ガイドライン(試案Ver.1.6)」に記載された排出係数を使用し、算出。

環境会計

名古屋鉄道(株)(株)名鉄インプレス、名鉄バス(株)の合計数値

環境活動を定量的に把握し、活動を効率的に行うため、環境会計の導入をしています。

平成17年度の環境保全コストは約3,336百万円で、常滑線を中心に行った騒音振動対策関連工事や、パーク&ライド駐車場の整備、所有ビルの省エネ化等を積極的に実施したことに加え、PCB廃棄物の処理費用を当年度内に特別損失として計上したことにより、前年度に比べ約350百万円増加しました。また、環境活動によって得られた効果は約244百万円でした。今後も可能な限り環境活動を定量的に把握し、活動の効率性を高めていきます。

環境保全コスト(単位:千円)

内 容		投資額	費用額	
(1)事業エリア内コスト		2,737,239	233,930	
内 訳	公害防止コスト	騒音対策:ロングレール化、PCマクラギ化、レールの重量化、防音車輪導入など 大気汚染対策:集塵装置、アイドリングストップバス導入など 水質汚染対策:浄化槽改修など	1,636,789	140,973
	地球環境保全コスト	パーク&ライド駐車場の整備、き電線改良、ファンコイル更新など	987,362	3,081
	資源循環コスト	廃棄物処理、廃棄物保管設備の改良、地下水揚水設備の更新など	113,087	89,875
(2)上・下流コスト	グリーン購入	8,131	38,587	
(3)管理活動コスト	人件費、会議費、ISO活動維持費、環境教育費用など	0	12,099	
(4)社会活動コスト	環境報告書の作成、イベント費用、緑化費用など	2,341	1,251	
(5)環境損傷コスト	PCB廃棄物処理関係費用(引当金繰入額含む)	0	302,220	
	小 計	2,747,712	588,089	
	コスト合計		3,335,801	

環境保全効果

効果の内容		環境保全効果を示す指標	
		指標の分類	指標の値(量)
(1)事業エリア内で生じる環境保全効果(事業エリア内効果)	事業活動に投入する資源に関する効果	鉄道電力	9,960,296kWh
		太陽光発電	1,013kWh
		バス軽油	610,681ℓ
		水道水	9,937m ³
	事業活動から排出する環境負荷および廃棄物に関する効果	使用済み乗車券の再資源化による廃棄物抑制量	74t
(2)上・下流で生じる環境保全効果(上・下流効果)	事業活動から算出する財・サービスに関する効果		
(3)その他の環境保全効果	輸送その他に関する効果		

環境保全対策に伴う経済効果(単位:千円)

効果の内容	金額
収入	
主たる事業活動で生じた廃棄物のリサイクルまたは使用済み製品等のリサイクルによる事業収入	125,190
費用	
省エネルギーによるエネルギー費用削減	115,363
省資源またはリサイクルに伴う廃棄物処理費用の削減	3,731
合 計	244,285

集計期間:平成17年4月1日~平成18年3月31日 集計範囲:名古屋鉄道(株)(株)名鉄インプレス、名鉄バス(株)の事業範囲 確実に把握が可能で、環境目的が高い項目を計上 金額は税抜き、千円未満を切り捨てて表示 環境省「環境会計ガイドライン」および(社)日本民営鉄道協会「民鉄事業環境会計ガイドライン」に準拠 事務用品におけるグリーン購入費用は全額計上 費用に減価償却費は含まず

環境活動の沿革

平成 7年	乗車券リサイクルの取り組みを開始
平成 8年	名鉄協商(株)と乗車券リサイクルシステムを構築
平成 10年	「名鉄エコ・ビジョン」策定 アクション・エコ推進委員会を設置 第1回アクション・エコ推進会議開催
平成 11年	第1回環境講演会開催 従来の節約運動を「エコ・キャンペーン」と改称(以後、毎年夏・冬の全2回実施)
平成 12年	舞木検査場にてISO14001認証取得 環境報告書を発行 新・省エネ車両モ800形導入(平成13年、鉄道友の会よりローレル賞受賞) PETリサイクル素材制服の試験導入 リサイクルベンチの試験設置(名鉄名古屋駅) 名鉄長住町ビル・名鉄新一宮ビル完成(雨水利用システム・コジェネレーションシステムの導入)
平成 13年	小幡駅(瀬戸線)にて「コミュニケーション」実施 名鉄環境ビデオを製作 紙製乗車券の100%リサイクルシステム完成 環境モデル路線・モデル駅を制定 「平成13年度リサイクル推進功労者等表彰」において国土交通大臣賞受賞 環境会計を初めて公表
平成 14年	新・省エネ車両300系導入(純電気ブレーキ・ステンレス車体の採用) 瀬戸線に節水システム導入 リサイクル作業服の本格導入
平成 15年	水なしトイレの試験導入(大同町駅) 新リサイクルボックス(乗車券リサイクル品)の導入
平成 16年	環境監査を開始 PET製乗車券のサーマルリサイクルを開始
平成 17年	愛・地球博開催 新・省エネ型車両2000系導入
平成 18年	蛍光灯リサイクルの取り組みを開始 「名鉄グループエコ・ビジョン」策定 グループへ取り組みを拡大 エコムーブマークを制定

名古屋鉄道(株)単体の環境活動について記載

地域社会との よりよい共生を目指して



名鉄グループは、「地域価値の向上に努め、永く社会に貢献する」ことを使命とする企業集団です。企業として存続していくために、地域からの信頼を得ることを基本姿勢として、社会的責任を完遂することが求められていることを絶えず認識し、事業を展開していかなければならないと考えています。

これまでも名鉄グループでは、多種多様な事業運営の一方で、地域文化向上のために社会貢献活動を積極的に行ってきました。また、皆さまの生活に密着し、当たり前のごとく提供させていただかなくてはならない公共交通事業そのものも、社会貢献活動であるといえるかもしれません。

今後も皆さまの期待に応え、地域から愛される「信頼のトップブランド」としての名鉄グループを築き上げていくため、社会に対して果たすべき役割や責任は何かを常に問いながら、地域とともに発展してまいります。

安全の確保

鉄道、バス、トラック、タクシー、船舶、航空とさまざまな運輸サービスを地域に提供する名鉄グループにとって、安全の確保は最大の社会的責任と言えます。名古屋鉄道では、事故の危険性を可能な限り小さくし、お客さまに安心してご利用いただけるよう、昼夜を問わない点検・整備や線路の高架化、新たな技術開発による各種安全装置の設置、より高度な保安システムの導入、そして何よりもベテラン運転士の知識と技術を継承する教育の徹底により、さらなる安全を追求しています。

ATSの整備



ATS(自動列車停止装置)は、列車が指定された速度より早く通過すると、自動的に停止させる装置で、名古屋鉄道は、昭和43年には全線で設置を完了しました。さらに、カーブにおいては、尼崎JR脱線事故を受け、国土交通省が新たに義務付けた設置基準を上回る基準でATSの整備を進めています。

旅客安全対策



名古屋鉄道では、お客さまのホーム転落防止対策として、列車非常通報装置や転落防止装置の設置、万が一転落された場合の事故防止対策として、転落検知装置の設置などを積極的に進めています。

食の安全確保



名古屋エアケータリングでは、国際的な食品安全基準を達成するため、原材料の受入から保存、調理、保管、盛付け、出荷に至る全工程を温度管理して食品の劣化を防ぐHACCPシステムを導入するなど、食の安全を守るため万全の体制を敷いています。

情報セキュリティマネジメントシステム認証の取得



メイテツコムは、平成14年1月、東海地区において第1号のISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)認証を取得しました。翌年にはISMS Ver.2.0への適用も行き、さらにお客さまの情報を守るため、日々の改善サイクルに取り組んでいます。

P39の用語解説をご参照ください。

快適なサービスの提供

地球環境への問題意識が高まるなか、エネルギー効率が良い鉄道をはじめ、公共交通機関の果たす役割はますます重要となっています。名鉄グループは、さまざまな交通事業者と連携し、地域特性を活かした公共交通ネットワークの充実を図るとともに、お客さまに満足いただける質の良いサービスと安心・快適で便利な移動環境を提供していきます。

バリアフリー化5ヵ年計画の策定



少子高齢化が急速に進む現在、お年寄りやお体が不自由な方のみならず、誰もが安全で利用しやすい交通手段であるために、名古屋鉄道では、バリアフリー化5ヵ年計画を策定し、平成22年度までに交通バリアフリー法に基づく対象駅全てについて、エレベーターやスロープの設置をはじめとするバリアフリー化を進めています。

「サービス介助士」の配置



名古屋鉄道では、お年寄りやお体が不自由な方が快適に駅をご利用できるよう、「サービス介助士」の資格取得を推進しています。駅助役クラスで有資格者は現在147人(平成17年度末)、主要20駅に配置しています。

介助タクシーの運行



名鉄交通では、お客さまを大切にする接客サービスの視点から、本業プラスのサービスの充実に努めており、その一環として平成11年8月から介助タクシーを運行しています。それに併せ、社内介助資格制度を導入し、約1,300人の営業係(乗務員)が同資格を取得して体の不自由な方や高齢なお客さまのご利用の手助けを行っています。

名鉄お客さまセンター



平成16年10月に「名鉄お客さまセンター」を設置し、電車・バスの時刻や運賃、きっぷ等に関するお問合せや、サービスに関するご意見・ご要望などを専属スタッフがお伺いしています。ご意見・ご要望は接客サービスのより一層の向上や業務改善に役立っています。

P39の用語解説をご参照ください。

従業員の資質向上

地域から信頼される名鉄グループの従業員として、一人ひとりが技能を磨き、自らの資質向上に努めて、新しい価値を創造し続ける社風の確立をめざしています。そのために、組織における役割と責任を明確化し、一人ひとりが能力を発揮できる環境と人材の育成などに力を入れています。

人事制度



名古屋鉄道では、平成17年7月から、組織において果たすことが期待される役割を明確化し、役割発揮に応じて処遇を決定する「役割等級制度」と、それに連動した評価制度を導入しました。役割業績を評価するための基準を職種別に具体化して提示するとともに、その評価結果をフィードバックして納得性を高め、従業員一人ひとりの今後の成長につなげることを目的としています。

グループの発展・成長に資する教育研修



グループの統合力が重要とされる昨今、役員、幹部社員、新入社員といった各階層を対象に、事業改新の視点と技法を学び、交流を通じて人的結束を強化するための研修を実施し、グループの発展・成長を確実にする企業集団の確立を目指します。

人材育成



安全輸送を遂行するための徹底した安全教育と、お客さまサービス向上のためのCS(Customer Satisfaction)教育に力を入れるのはもちろん、従業員一人ひとりに求められる役割を明確にした人材育成を進めています。

現場部門への女性の進出



名古屋鉄道は、昭和58年に鉄道業界で初めて女性車掌を採用したのをはじめ、昭和61年からは駅現場で改札、案内を担当する係員として導入するなど積極的に現場部門に女性を採用してきました。平成11年の男女雇用機会均等法の改正による女性の深夜就業解禁を受け、鉄道の運転部門や名鉄グループのバス乗務員、タクシー乗務員などでも多くの女性が活躍しています。

社会への貢献

地域の発展とともに歩んできた名鉄グループにとって、地域社会に貢献し、地域文化の向上に寄与することは重要な使命のひとつです。平成17年に開村40年を迎えた博物館明治村、生涯学習意欲の高まりの中で地域の皆さまに豊かなカルチャーライフを提供する熱田の森文化センターなどの文化施設の運営も、名鉄グループの文化貢献の姿です。

文化財の保護



博物館明治村(犬山市)は、昭和40年の開村以来、近代日本の基礎を築いた明治時代の建造物の移築や物品の収集に取り組んできました。約100万 m^2 の敷地に、国の重要文化財12件をはじめ、国登録有形文化財に指定された60余件の建造物が保存展示され、本物ならではの文化的価値に触れることができます。



ライフサポート事業の展開



少子高齢化社会、バリアフリー社会に対応し、お年寄りの介護や看護、あるいは子育て支援など、生活支援サービスを行う各種の事業を展開していきます。お年寄りやお体の不自由な方が気軽に外出できるようお手伝いする介助タクシーの運行や、介護付き有料老人ホーム「メイライフあじま」(名古屋市)の運営など、積極的に取り組んでいます。

少子高齢化社会、バリアフリー社会に対応し、お年寄りの介護や看護、あるいは子育て支援など、生活支援サービスを行う各種の事業を展開していきます。お年寄りやお体の不自由な方が気軽に外出できるようお手伝いする介助タクシーの運行や、介護付き有料老人ホーム「メイライフあじま」(名古屋市)の運営など、積極的に取り組んでいます。

名鉄国際育英会



昭和58年に、それまでの名鉄育英会を統合して財団法人「名鉄国際育英会」を設立し、愛知県で学ぶ外国人留学生に勉強資金を援助する国際的な育英事業を行っています。名鉄グループは、こうした教育機会の提供を通じて、国際社会に通用する青少年の育成に貢献しています。

用語解説

環境

ISO14001 ▶ p.10

組織が環境活動を行うにあたり、継続的な改善が行えるよう、国際標準化機構(ISO)が作成した環境マネジメントの国際規格です。

グリーン経営認証 ▶ p.10

交通エコロジー・モビリティ財団が運輸事業者を対象に、環境に配慮した事業が展開されていることを認証する制度です。

名古屋市エコ事業所 ▶ p.10

名古屋市は、市内にある事業所のうち、事業活動における環境に配慮した取り組みを自主的に、積極的に実施している事業所をエコ事業所として認定しています。

回生ブレーキ ▶ p.12

電力の効率的利用、省エネルギーを目的として開発されたブレーキです。ブレーキ時に主電動機(モーター)を発電機として作用させ、発生する電力を架線に戻します。この電力は他の電車で使用するか、変電所に戻されています。

力率改善コンデンサー ▶ p.13

電力会社から購入した交流電力を変電所内で無駄なく利用するために、設備に流れる電気のうちで、どれだけの部分が仕事をしたかという割合を示す力率を改善させるものです。

き電線 ▶ p.13

変電所から電車に電気を送るための電線です。

デジタルタコグラフ ▶ p.14

主に自動車において、運転速度や運転時間、アイドリングの状況などのデータを記録します。コンピュータによる詳細なデータ分析が可能で、経済運転はもとより環境配慮にも役立ちます。

ESCO事業 ▶ p.22

工場、ビル等において省エネルギーに必要なサービスを提供して、省エネルギーを実現し、結果として得られる省エネ効果も保証する事業です。事業にかかる経費は、省エネ効果により得られた光熱費等の経費削減分でまかなう仕組みで、事業導入者側は設備投資のリスクを負うことなく、省エネを達成できます。

グリーン購入 ▶ p.27

商品やサービスを購入する際に、価格や品質だけでなく、環境負荷ができるだけ少ないものを優先的に購入することをいいます。

ロングレール ▶ p.28

気温の変化によるレールの伸縮に対応するため、レールには通常25mおきに継目があります。しかし、この継目は列車通過時の騒音や振動の原因となります。これらの発生を抑制するために、継目を溶接してつなぎ、200m以上にして使用しています。

社会

HACCPシステム ▶ p.35

食品の製造過程で発生する可能性のある衛生・品質上の危険性を分析し、安全性確保のために監視すべき重要管理点を定め、厳格に管理・記録を行うシステム(危害分析重要管理点方式)です。

交通バリアフリー法 ▶ p.36

平成12年に施行され、鉄道事業者に対し、駅などの旅客施設の新設・大改良、車両の新規導入に際し、エレベーターの設置など移動円滑化基準への適合を義務付けています。

サービス介助士 ▶ p.36

NPO法人「日本ケアフィットサービス協会」が認定する民間資格です。

編集後記

本年4月から名鉄グループ一体となった環境活動を進めるため「名鉄グループ エコ・ビジョン」の策定と推進体制の構築を行ったことに伴い、過日開催した「名鉄グループ アクション・エコ推進委員会」では、グループ各社の環境への取り組みの「レベル」は必ずしも一定ではなく、それをいかに一定レベルにまで向上させるかという課題が浮き彫りとなりました。

環境への取り組みは、まず問題点を洗い出した上で目標を設定し、それに向かって取り組みを進め、一定期間ごとに確認し見直しをするというサイクル(PDCAサイクル)をまわして、継続的な改善を行っていくことが大切です。

今後、名鉄グループ各社それぞれが、事業に係る環境負荷の把握を早急に行うとともに、それを改善するための行動目標を設定して着実に環境改善への行動を進めることで、環境面において社会から期待される役割と責任を確実に果たし、一定の成果を社会に対して示してまいりたいと強く思っている次第です。「メイテツといえばエコ」と言われるようになるまで、グループ一体となって地道に継続して取り組んでまいりたいと考えております。

また、最近ではCSR経営が叫ばれ、企業の社会的責任やコンプライアンス、環境活動などを踏まえた企業経営の必要性が高まっていると強く認識しております。名鉄グループが社会とどのように関わっていくのが、今まで以上に問われていることを受け、今回の報告書からは、社会に対する取り組みについても記載をさせていただきました。ご高覧いただき、多くの皆さまより忌憚なきご意見を頂戴できれば幸いです。

平成18年9月

名鉄グループアクション・エコ推進委員会 委員長
名古屋鉄道株式会社 取締役副社長

西川 富夫



編集方針

「アクション・エコレポート」はこれまで、名古屋鉄道中心の取り組み内容を記載していましたが、今回から名鉄グループとしての環境方針や推進体制、業種別に特徴のある取り組みの紹介など、グループの環境報告書としての発行を念頭に、内容を一新しました。また、環境活動を含め、名鉄グループが社会的責任として果たすべき取り組みを整理し、その一部分ではありますが、社会とのかかわりに関する内容も記載しております。

さらに、全体にわたって、文字を大きめにしたり、写真を多く掲載して見やすくしたりするなどの改訂を行い、これまでより読みやすくする工夫を行いました。

編集担当から

環境への取り組みを名鉄グループ全体へ拡大することに伴って、本年7月の組織改正で専任の環境担当ができました。これまで名鉄グループ各社それぞれが行ってきた地道な活動をさらに深めていくとともに、それを社会の皆さまに対して広くお伝えしていきたいと考えております。

名鉄グループ一覽(平成18年3月31日現在)

名古屋鉄道株式会社
株式会社名鉄プロパティ
株式会社名鉄マネジメントサービス
株式会社名鉄百貨店
株式会社メルサ
株式会社金沢名鉄丸越百貨店
株式会社名鉄パレ管財
株式会社名鉄インテリア
株式会社武蔵開発
株式会社クラピクラ
名鉄協商株式会社
名鉄産業株式会社
株式会社名鉄交通商事
名鉄薬品株式会社
株式会社名鉄AUTO
東鉄商事株式会社
株式会社名鉄生活創研
株式会社ケイビーエスオー
名鉄運輸商事株式会社
北陸鉄道株式会社
福井鉄道株式会社
岐阜乗合自動車株式会社
東濃鉄道株式会社
大井川鐵道株式会社
豊橋鐵道株式会社
濃飛乗合自動車株式会社
知多乗合株式会社
北恵那交通株式会社
網走バス株式会社
おんたけ交通株式会社
名鉄バス株式会社
名古屋観光日急株式会社
名鉄クレハ観光バス株式会社
株式会社岐阜バスコミュニティ
名鉄西部観光バス株式会社
名鉄東部観光バス株式会社
株式会社岐阜バスコミュニティ八幡
豊鉄観光株式会社
岐阜バス観光株式会社
西濃華陽観光バス株式会社
豊鉄ミディ株式会社
名鉄交通株式会社
愛電交通株式会社
名鉄西部交通株式会社
石川交通株式会社
名鉄四日市タクシー株式会社
豊鉄タクシー株式会社
三重名鉄タクシー株式会社
東鉄タクシー株式会社
名鉄知多タクシー株式会社
名鉄東部交通株式会社
名鉄名古屋タクシー株式会社
名鉄岡崎タクシー株式会社
岐阜名鉄タクシー株式会社
信州名鉄交通株式会社
木曾おんたけ名鉄タクシー株式会社
福井名鉄タクシー株式会社
株式会社網走ハイヤー
下呂名鉄タクシー株式会社
濃飛交通株式会社
甲府名鉄交通株式会社

武田名鉄交通株式会社
名鉄蒲郡タクシー株式会社
橋北タクシー株式会社
坂下タクシー株式会社
浜松名鉄交通株式会社
名鉄運輸株式会社
信州名鉄運輸株式会社
四国名鉄運輸株式会社
和歌山名鉄運輸株式会社
中京通運株式会社
名鉄ゴールデンデン航空株式会社
西肥名鉄運輸株式会社
信州名鉄運送株式会社
名鉄トラック運送株式会社
東北名鉄運輸株式会社
山梨名鉄運送株式会社
柳島運送株式会社
東鉄運送株式会社
東海名鉄運輸株式会社
四国名鉄運送株式会社
名鉄急配株式会社
関東名鉄急配株式会社
松山名鉄急配株式会社
名鉄引越サービス株式会社
徳島名鉄急配株式会社
新潟名鉄株式会社
株式会社トーハイ
株式会社名鉄エクスプレスカーゴ
株式会社名鉄配送サービス
北陸名鉄カーゴサービス株式会社
株式会社名鉄オートサービス
名鉄流通株式会社
大阪名鉄急配株式会社
埼玉名鉄配送株式会社
株式会社メイテツ流通倉庫
名鉄カーゴサービス株式会社
東京名鉄カーゴサービス株式会社
大阪名鉄カーゴサービス株式会社
三陸貨物株式会社
静岡名鉄カーゴサービス株式会社
中国名鉄運送株式会社
高知名鉄急配株式会社
南予名鉄急配株式会社
九州名鉄カーゴサービス株式会社
名鉄ライフサービス株式会社
北陸名鉄急配株式会社
関東名鉄カーゴサービス株式会社
太平洋フェリー株式会社
名鉄海上観光船株式会社
中日本航空株式会社
株式会社びわ湖パレイ
株式会社名鉄サンニランド
株式会社夫婦岩パラダイス
奥飛観光開発株式会社
中央アルプス観光株式会社
岐阜観光索道株式会社
奥濃飛白山観光株式会社
めいほう高原開発株式会社
株式会社伊良湖リゾート
株式会社名鉄インプレス
株式会社千羽平ゴルフクラブ

株式会社犬山カンツリー倶楽部
株式会社伊良湖シーサイドゴルフ倶楽部
株式会社名鉄トヤマホテル
株式会社岐阜グランドホテル
株式会社金沢スカイホテル
道東観光開発株式会社
株式会社名鉄犬山ホテル
株式会社浜松名鉄ホテル
株式会社名鉄グランドホテル
乗鞍観光ホテル株式会社
株式会社豊鉄ターミナルホテル
株式会社名鉄トヨタホテル
セントレアホテル株式会社
株式会社名鉄レストラン
株式会社メイファーズ
名鉄観光サービス株式会社
碧海観光サービス株式会社
株式会社名鉄知多バス旅行
濃飛観光株式会社
株式会社名鉄岐阜観光
東鉄観光株式会社
名鉄不動産株式会社
名古屋空港ビルディング株式会社
株式会社名鉄レジャック
浪速開発株式会社
ネプロ建物株式会社
株式会社ミヤコー
矢作建設工業株式会社
名鉄自動車整備株式会社
名鉄ビルディング管理株式会社
華陽自動車興業株式会社
北陸名鉄開発株式会社
名鉄木材防腐株式会社
豊鉄建設株式会社
トヨテツオートサービス株式会社
太平洋フェリーサービス株式会社
名鉄環境造園株式会社
株式会社メイエレック
メイテツエクスプレスUSA
メイテツトラベルUSA
名鉄ハワイINC
株式会社名鉄エージェンシー
株式会社メイテツコム
名鉄OA株式会社
株式会社名鉄クリーニング
名鉄保険代行株式会社
ニッポンレンタカー名鉄株式会社
名古屋アケータリング株式会社
株式会社名鉄スカイパーキング
株式会社名鉄百貨店友の会
中部エイチ・エス・エス・ティ開発株式会社
グリーンシティーフルテレビ株式会社
有限会社知多自動車学校
株式会社めいてつ企画
株式会社めいかん企画
株式会社名鉄美装
株式会社めいてつカードサービス

「名鉄グループ エコ・ビジョン」対象範囲会社の目録(計179社)

本報告書に関する
お問合せ先

名鉄グループ アクション・エコ推進委員会事務局(名古屋鉄道株式会社経営企画部内)

〒450-8501 名古屋市中村区名駅一丁目2番4号
TEL 052-588-0807 FAX 052-588-0809

E-mail action-eco@nrr.meitetsu.co.jp URL <http://www.meitetsu.co.jp/profile/kankyo/>



地球にウレシイを
この街から。

このキャンペーンマークは、豊かな地球環境の象徴であり、同時に名鉄グループ エコ・ビジョンの基本理念を達成するための4つの要素—環境保全に対する「意識の向上」「技術力の向上」「地域との連携」を3枚の若葉で、それらを根底で支える「法令遵守」をレールで表したものです。

表紙

きれいな清流のシンボルとされてきた「カワセミ」。しかし、自然環境の悪化により、餌となる魚やカニ、エビなどが減少し、今ではカワセミの数もとても少なくなっています。そこで、「グループ全体の取組みが、やがてカワセミが戻ってこられるような美しい自然環境につながっていく」という思いを象徴しています。

名鉄グループ アクション・エコ推進委員会 平成18年9月発行

用紙 ●表紙/メイテツマット 110K 本文/メイテツマット 70K(乗車券40%、牛乳パック40%、古紙20%で配合された古紙配合率100%の再生紙を使用しています)漂白のための塩素の使用はもちろん、無駄な表面塗工、特殊コーティングは施していません。

インク ●大豆インクの使用により石油系溶剤の使用量、VOC(揮発性有機化合物)発生を抑え、鉛、水銀、カドミウムなどの重金属も使用していません。

印刷 ●インク転写時にイソプロピルアルコールなどを含む湿し水が不要な、「水なし印刷」を採用しています。

